

脳とこころの研究とその社会的応用

・名古屋大学大学院医学系研究科 ・名古屋大学医学部保健学科

本学は昭和58年以来、大学での研究成果や知的財産を地域の皆様に還元することを目的として、健康や医療に関わるテーマで一般市民の皆様を対象とした公開講座を開催してまいりました。

本年は、「脳とこころの研究とその社会的応用」と題して2つの講演を行います。研究に関心のある方、最新の知見を勉強(収集)したい方、研究者をめざしている方など皆様のご来場をお待ちしております。

受講料
無料

2019.10.19 sat
10:00-11:50

名古屋大学大幸キャンパス
東館4階大講義室

[定員] 100名 事前の申し込みが必要です。
先着順に受け付けます。

講座内容

第1講演 10:00-10:50 ヒト脳研究の昔と今

内容

古くから人はこころの働きが、どのようなメカニズムにより成り立っているかに興味がありました。そして様々な手法を用いて、脳の機能を調べようと実験を進めてきました。脳は頭蓋骨におおわれており、なかなかその神秘的な姿を人類に見せることはありませんでした。しかし21世紀に入り科学の力により、その一端が明らかになってきています。本日はその一部を紹介したいと思います。

名古屋大学大学院医学系研究科 作業療法学講座・教授 飯高哲也

第2講演 11:00-11:50 医療・介護領域に導入されるロボット技術応用の新しい流れ

内容

2014年に国際規格ISO 13482「ロボット及びロボティックデバイス:生活支援ロボットの安全要求事項」によって、開発・普及・活用の安全基準が国際標準化機構(ISO)により全世界に向け示されました。従来までの工業・医療中心のロボット技術応用だけでなく、超高齢化が進む我が国においても家族の介護負担の軽減など、私たちの身近な生活の中で活用できる時代となりました。演者の生活支援技術の研究テーマと共に概観したいと思います。

名古屋大学大学院医学系研究科 作業療法学講座・教授 千島 亮

お申し込み方法

- ▶ はがき、ファクス、または電子メールのいずれかでお申し込みください。
- ▶ お申し込みには、【市民公開講座申し込み】と明記のうえ、氏名(フリガナ)及び連絡先を必ず記入してください。
※電子メールの場合、表題を【市民公開講座申し込み】としてください。
- ▶ 締め切り: 10月4日(金) 到着分
※受講可能な場合、お申し込みへの返信はいたしません。

お申し込み先

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20
名古屋大学大学院医学系研究科(保健学)教務学生係
Fax: 052-719-1506
E-mail: ihogakumu@adm.nagoya-u.ac.jp(申込み専用)

その他

受講申込時に記載された個人情報等は、本公開講座の運営のみに利用させていただきます。また名古屋市に暴風警報が発令され、午前8時まで解除されない場合や災害や感染症の流行等が生じた場合には、ホームカミングディ、公開講座は中止とさせていただきます。その際は、本学ホームページ(<http://www.nagoya-u.ac.jp/>)上でお知らせしますので、開講前は特にご注意願います。

後援

愛知県看護協会、愛知県診療放射線技師会、愛知県臨床検査技師会、愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会

会場への交通案内

※会場へは公共交通機関にてお越しください。

- ▶ 地下鉄名城線 ナゴヤドーム前矢田(1番出口)徒歩10分、砂田橋(1番出口)徒歩10分
- ▶ ゆとりーとライン ナゴヤドーム前矢田 徒歩7分、砂田橋 徒歩7分
- ▶ JR中央線・名鉄瀬戸線 大曾根 徒歩20分
- ▶ 市バス 大幸三丁目 バス停南側

